

平成28年度一般選抜（後期日程）

## 小論文問題

注意事項
------

- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙を開けてはいけません。
- 2 問題用紙・解答用紙の定められた欄に必ず受験番号と氏名を記入しなさい。
- 3 問題用紙と解答用紙が別々になっています。表紙は切り離さずに解答しなさい。
- 4 問題用紙は表紙を入れて2枚、解答用紙が1枚あります。
- 5 解答時間は60分です。
- 6 解答は解答用紙に横書きに記入しなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

[問題] 次の文を読んで、以下の問いに答えなさい。

忘れもしない。小学三年生の時だ。詩を書く宿題が出た。

思ったことを自由に書けば詩になるんだよ。海のザブーン！という音や、まな板のトントントンという音が詩を書くときには大切なんだよ。

そんな先生の説明を聞いて、面白半分に書き始めた。いくつか書いたが、うまくいかない。その時、父が風呂に入っている音が聞こえてきた。

ザバーッ！ ジャーッ！ 豪勢に水を流している。「これだ！」とひらめいた。私は親が不思議がる中、もう一度風呂に入り直す。ザブン、ドブン、シュッシュ、ツルツル、ピカピカ！ オノマトペの宝庫である。私は「お風呂」というタイトルをつけ、擬音がいっぱい入った詩を書いた。自信作である。

翌日の国語の時間、みんなが作った詩を朗読する中で、先生は私の書いた「お風呂」を褒めてくれた。「読んだらお風呂に入っている気分になるみたい。いろんな音が聞こえてきたんだね」と。私は意気揚々。絶対自分の詩がクラス一だと思っていた。

しかし、先生が私の書いたものより褒めた詩があった。クラスでもどちらかといえば目立たない女の子が書いた詩だった。

電球が切れた。夕方になって、だんだん暗くなってくる。心細くなってきた頃にお父さんが帰って来た。大きなお父さんが電球を変えたらパッと家が明るくなった。

こんな内容だったと記憶している。暗いなあとと思ったら、先生が絶賛したのである。軽い嫉妬を覚えた。「こんな暗い話のどこがええねん？」

当時は納得できなかったけれど、今なら説明がつく。女の子が書いた詩は、電球がメタファー（暗喩）になっていて、暗くなっていく景色と心情とが見事にリンクしている。お父さんが帰って来た時の気持ちと電気の明るさも、見事に重なっていた。詩心を理解せず策に溺れた私の完敗だった。

私は、有頂天になったとき、「おまえまた、ザブン、ドブン、いい気になってないか？」と自問する。ひとつふたつの思いつきでいい気になって、それを技巧でごまかそうとする。小利口に逃げ切って、いい気になっている自分自身に水をかけるのだ。

「ザブン、ドブン」は、私の低い鼻をへし折ってくれる魔法のことばになっている。

(ひきたよしあき：ゆっくり前へ ことばの玩具箱<sup>おもちゃばこ</sup>、ことのは新書、京都書房、2015.)

問1 文中の下線部分を導き出した著者の体験を要約しなさい。(句読点を含んで125字以内)

問2 著者の体験に関して、あなたの考えを600字以内で述べなさい。